

SAWAYAKA SHINKIN BANK Business condition report

さわやか景況レポート

(2019年7月～9月期)



品川支店

目次

景況 DI レポート	... 1
製造業	... 2
卸売業	... 3
小売業	... 4
サービス業	... 5
建設業	... 6
不動産業	... 7
特別調査	... 8
各種統計指数	... 9

第47号 2019年11月

景況DIレポート

2019年7～9月期（第2四半期）NO.47

調査方法について

製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種を対象に調査を実施いたしました。

当金庫職員が、お取引先に出向いて聞き取り調査を実施しています。

2019年度第2四半期を2019年度第1四半期と比較した実績と、

2019年度第3四半期を比較した見通しを調査したものです。

調査依頼先数は588先で、回答をいただいた先は567先です。

特別調査では、四半期ごとに異なったテーマのアンケートを実施しています。

調査企業の内訳

(単位:先)

従業員数	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	計
1～4	96	18	128	34	13	21	310
5～9	48	12	17	12	17	3	109
10～19	37	5	10	14	9	2	77
20～29	14	1	3	2	2	0	22
30～49	11	2	2	3	4	0	22
50～99	10	2	0	4	1	0	17
100以上	8	1	0	0	1	0	10
計	224	41	160	69	47	26	567

DIについて

DI(Diffusion Index)とは、景気動向指数ともいわれ、景気の動きの方向を判断する指標です。「増加(楽)」の回答割合から「減少(苦しい)」の割合を差し引いて表します。たとえば、増加と回答した企業が40%、減少と回答した30%であった場合、「40% - 30%」= 10ポイントとなります。

調査結果は、DIに季節調整を行ってあらわしています。

季節調整について

統計指数から季節的な要因を取り除き、分析しやすい形にすることをいいます。例えば、「ビールは夏に売れる」「ボーナス時期には消費が増加する」等、統計指標には1年を周期とする季節的な要因があります。景気動向を見るためには、このような季節変動を考慮する必要があるため、季節調整を行います。

今期のDI

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合
業況	0.0	-7.8	-18.2	-7.9	10.9	12.1	-5.2
売上	2.7	-5.1	-13.9	-5.4	4.7	1.5	-3.4
収益	-1.2	2.6	-12.4	-9.4	11.8	-1.3	-4.0

今期のコメント

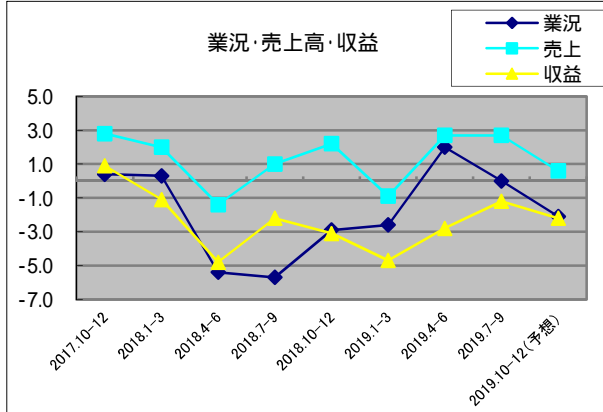
製造業	業況は悪化、売上は横ばい、収益は改善
卸売業	業況はやや改善、売上は悪化、収益は改善
小売業	業況は悪化、売上・収益はわずかに改善
サービス業	業況・売上・収益ともに悪化
建設業	業況は悪化、売上・収益は改善
不動産業	業況・売上・収益ともに悪化

製造業

調査先有効回答先数 224先

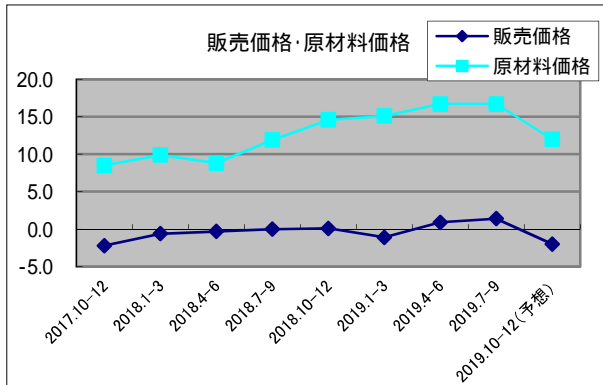
業況は悪化、売上は横ばい、収益は改善

期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予想)
業況	0.4	0.3	-5.4	-5.7	-2.9	-2.6	2.0	0.0	-2.1
売上	2.8	2.0	-1.4	1.0	2.2	-0.9	2.7	2.7	0.6
収益	0.9	-1.1	-4.8	-2.2	-3.1	-4.7	-2.8	-1.2	-2.2
販売価格	-2.2	-0.6	-0.3	0.0	0.1	-1.1	0.9	1.4	-2.0
原材料価格	8.5	9.9	8.8	11.9	14.6	15.1	16.7	16.7	12.0
借入実施	18.4	18.8	15.5	15.5	19.1	18.5	17.7	19.7	14.0
設備実施	13.6	13.4	12.2	13.6	14.8	13.7	15.0	14.9	10.9



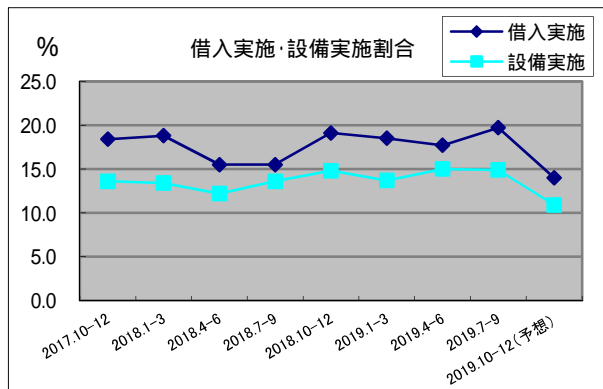
2019年7～9月期の業況DI(良い - 悪い)は、0.0となり、対前年同期比では5.7ポイント改善、前期比では2.0ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については2.7と、対前年同期比では1.7ポイント改善、前期比では横ばいに推移している。収益DI(増加 - 減少)については1.2と、対前年同期比では1.0ポイント改善、前期比でも1.6ポイント改善した。業況は悪化、売上は横ばい、収益は改善した。

来期は、業況・売上・収益ともに悪化するものと予想している。



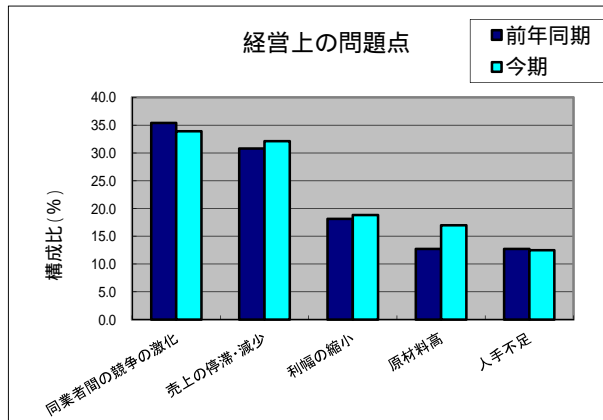
今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、1.4と対前年同期比で1.4ポイント増加し、前期比でも0.5ポイント増加した。今期の原材料価格DI(上昇 - 下降)は、16.7と対前年同期比で4.8ポイント増加し、前期比では横ばいに推移した。販売価格はわずかに増加、原材料価格は横ばいに推移した。

来期については販売価格・原材料価格ともに減少するものと予想している。



今期の借入実施の割合は、19.7%と前期比2.0%増加。設備実施の割合については、14.9%と前期比ほぼ横ばいに推移。借入実施は増加し、設備実施は横ばいに推移。

来期の予想では、借入実施の割合は14.0%、設備実施についても10.9%と、ともに減少する見通し。



経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。

第1位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期35.4%、今期33.9%となっている。

第2位は「売上の停滞・減少」である。前年同期30.8%、今期は32.1%となっている。

第3位は「利幅の縮小」である。前年同期18.1%、今期18.8%となっている。

第4位は「原材料高」である。前年同期12.7%、今期17.0%となっている。

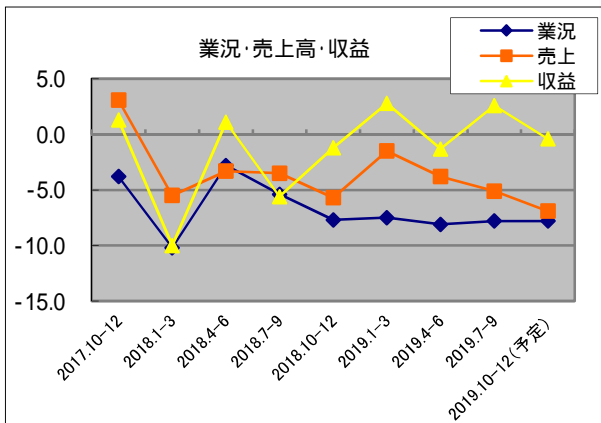
第5位は「人手不足」である。前年同期12.7%、今期12.5%となっている。

卸売業

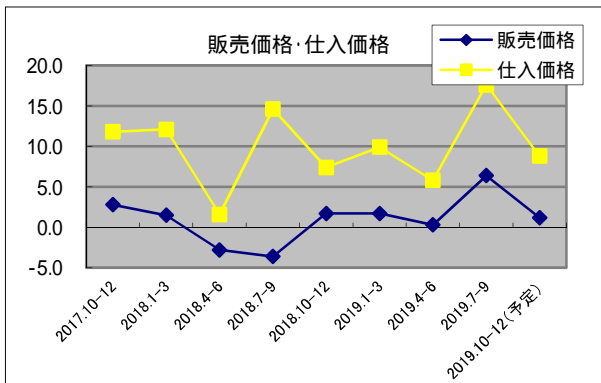
調査先有効回答先数 41先

業況はやや改善、売上は悪化、収益は改善

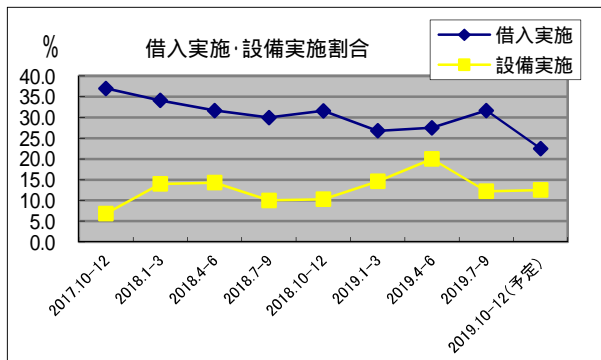
期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予定)
業況	-3.8	-10.2	-2.8	-5.4	-7.7	-7.5	-8.1	-7.8	-7.8
売上	3.1	-5.5	-3.3	-3.5	-5.7	-1.5	-3.8	-5.1	-6.9
収益	1.3	-10.0	1.1	-5.6	-1.2	2.8	-1.3	2.6	-0.4
販売価格	2.8	1.5	-2.8	-3.6	1.7	1.7	0.3	6.4	1.2
仕入価格	11.8	12.1	1.6	14.6	7.4	9.9	5.8	17.6	8.8
借入実施	37.0	34.1	31.7	30.0	31.6	26.8	27.5	31.7	22.5
設備実施	6.8	14.0	14.3	10.0	10.3	14.6	20.0	12.2	12.5



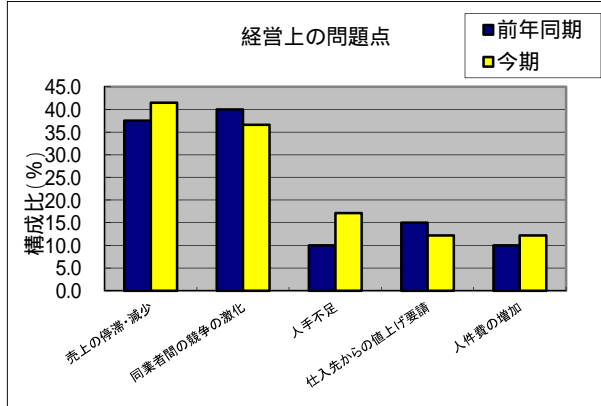
2019年7～9月期の業況DI(良い - 悪い)は、7.8と対前年同期比で2.4ポイント悪化、前期比では0.3ポイントの改善した。売上DI(増加 - 減少)については、5.1と前年同期比では1.6ポイント悪化、前期比でも1.3ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については、2.6と対前年同期比で8.2ポイント改善、前期比でも3.9ポイント改善した。業況はやや改善、売上は悪化、収益は改善した。
来期は、業況は横ばい、売上・収益は悪化するものと予想している。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、6.4と対前年同期比で10.0ポイント増加し、前期比では6.1ポイント増加。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、17.6と対前年同期比で3.0ポイント増加し、前期比でも11.8ポイント増加した。販売価格、仕入価格ともに増加した。
来期は、販売価格および仕入価格ともに減少が予想される。

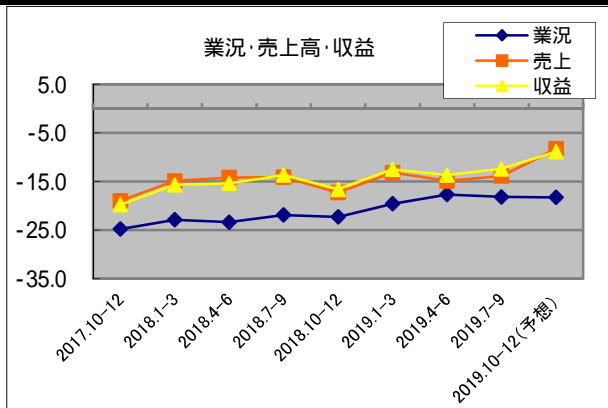


今期の借入実施の割合は、31.7%で、前期比4.2%増加。今期の設備実施の割合については12.2%と、前期比では7.8%の減少となっている。借入実施は増加、設備実施は減少した。
来期の予想では、借入実施の割合は22.5%と減少見込みであり、設備実施については12.5%と横ばいに推移する見通しである。

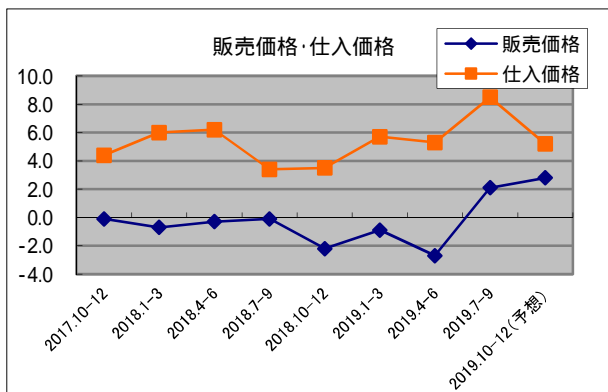


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期37.5%、今期41.5%となっている。
第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期40.0%、今期36.6%となっている。
第3位は「人手不足」である。前年同期10.0%、今期17.1%となっている。
第4位は「仕入先からの値上げ要請」である。前年同期15.0%、今期12.2%となっている。
第5位は「人件費の増加」である。前年同期10.0%、今期12.2%となっている。

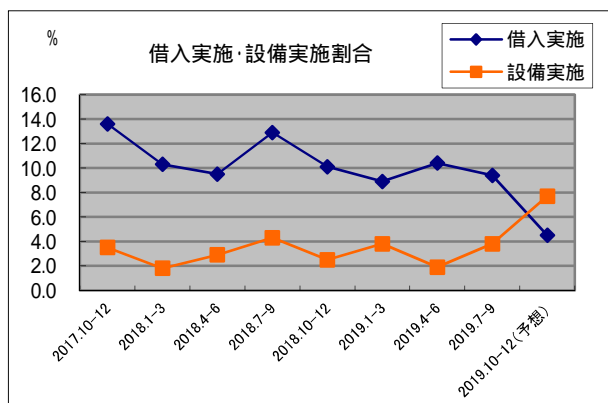
期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予想)
業況	-24.8	-22.9	-23.4	-21.9	-22.3	-19.6	-17.7	-18.2	-18.3
売上	-19.0	-14.9	-14.2	-14.1	-17.3	-13.2	-14.9	-13.9	-8.3
収益	-19.8	-15.7	-15.4	-13.7	-16.6	-12.5	-13.7	-12.4	-8.9
販売価格	-0.1	-0.7	-0.3	-0.1	-2.2	-0.9	-2.7	2.1	2.8
仕入価格	4.4	6.0	6.2	3.4	3.5	5.7	5.3	8.5	5.2
借入実施	13.6	10.3	9.5	12.9	10.1	8.9	10.4	9.4	4.5
設備実施	3.5	1.8	2.9	4.3	2.5	3.8	1.9	3.8	7.7



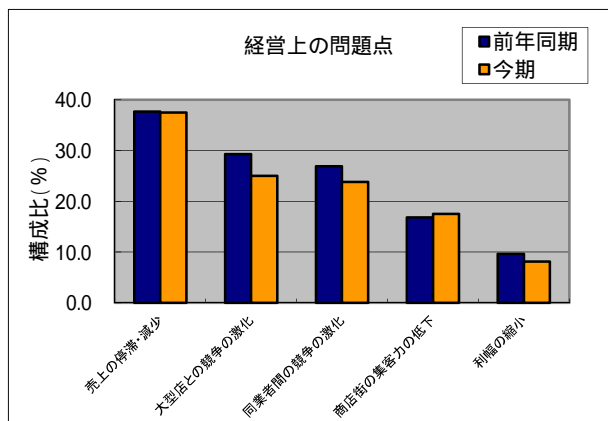
2019年7～9月期の業況DI(良い - 悪い)は、18.2で対前年同期から3.7ポイント改善、前期比では0.5ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については13.9と前年同期比で0.2ポイント改善、前期比でも1.0ポイント改善した。収益DI(増加 - 減少)については12.4と、対前年同期比で1.3ポイント改善、前期比でも1.3ポイント改善した。業況は悪化、売上・収益はわずかに改善した。来期は、業況はほぼ横ばい、売上・収益は改善すると予想される。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、2.1と対前年同期比で2.2ポイント増加、前期比では4.8ポイント増加している。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、8.5と対前年同期比で5.1ポイント増加、前期比でも3.2ポイント増加した。販売価格、仕入価格ともに増加した。来期については、販売価格は横ばい、仕入価格は減少すると予想している。



今期の借入実施の割合は、9.4%と前期比1.0%減少。今期の設備実施の割合については、3.8%と前期比1.9%増加した。来期の予想では、借入実施の割合は、4.5%と減少する見込みであり、設備実施の割合については7.7%と増加する見通し。



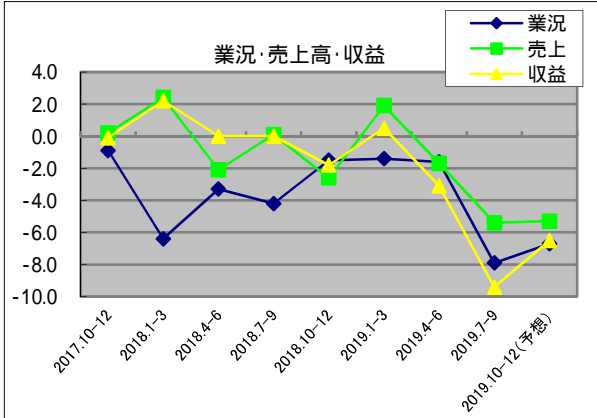
経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。第1位は「売上の停滞・減少」である。前年同期37.7%、今期37.5%となっている。第2位は「大型店との競争の激化」である。前年同期29.3%、今期25.0%となっている。第3位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期26.9%、今期23.8%となっている。第4位は「商店街の集客力の低下」である。前年同期16.8%、今期17.5%となっている。第5位は「利幅の縮小」である。前年同期9.6%、今期8.1%となっている。

サービス業

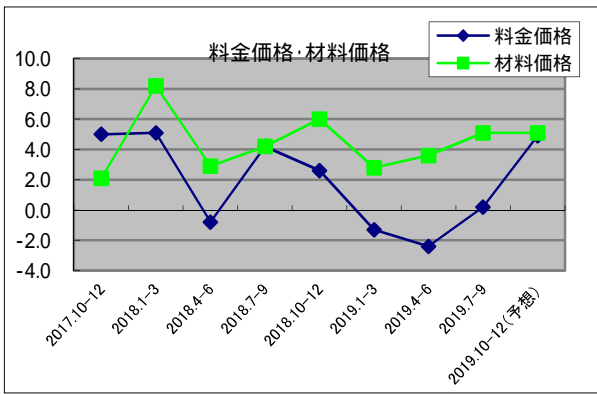
調査先有効回答先数69先

業況・売上・収益ともに悪化

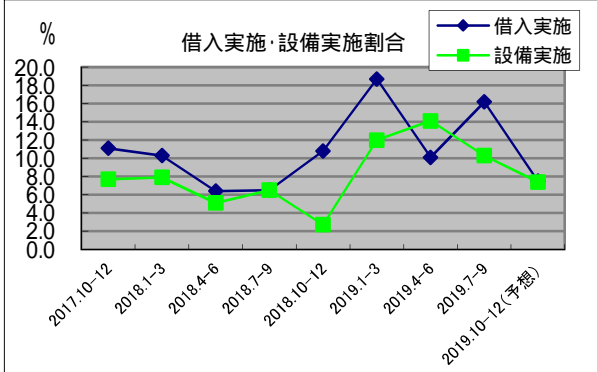
期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予想)
業況	-0.9	-6.4	-3.3	-4.2	-1.5	-1.4	-1.6	-7.9	-6.7
売上	0.2	2.4	-2.1	0.1	-2.6	1.9	-1.7	-5.4	-5.3
収益	-0.1	2.2	0.0	0.0	-1.8	0.5	-3.1	-9.4	-6.5
料金価格	5.0	5.1	-0.8	4.2	2.6	-1.3	-2.4	0.2	4.9
材料価格	2.1	8.2	2.9	4.2	6.0	2.8	3.6	5.1	5.1
借入実施	11.1	10.3	6.4	6.5	10.8	18.7	10.1	16.2	7.5
設備実施	7.7	7.9	5.1	6.5	2.7	12.0	14.1	10.3	7.4



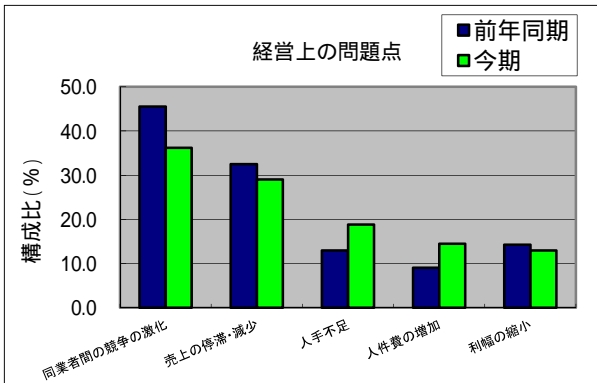
2019年7～9月期の業況DI(良い - 悪い)は、7.9と対前年同期比で3.7ポイント悪化、前期比でも6.3ポイント悪化した。
 売上DI(増加 - 減少)は5.4となり、対前年同期比で5.5ポイント悪化、前期比でも3.7ポイント悪化した。収益DI(増加 - 減少)については9.4と、対前年同期比では9.4ポイント悪化し、前期比でも6.3ポイント悪化した。業況・売上・収益すべて悪化した。
 来期については、業況・収益はやや改善、売上は横ばいに推移する見込み。



今期の料金価格DI(上昇 - 下降)は、0.2と対前年同期比では4.0ポイント減少、前期比では2.6ポイント増加している。今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は、5.1と対前年同期比で0.9ポイント増加、前期比でも1.5ポイント増加している。料金価格、材料価格ともに増加した。
 来期については、料金価格は増加、材料価格は横ばいが予想される。

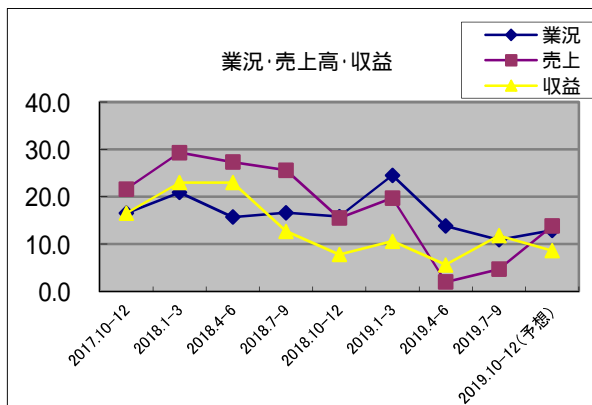


今期の借入実施の割合は、16.2%と前期比で6.1%増加。今期の設備実施の割合については、10.3%と前期比で3.8%減少している。借入実施割合は増加、設備実施割合は減少した。
 来期の予想では、借入実施割合、設備実施割合ともに減少する見通しである。

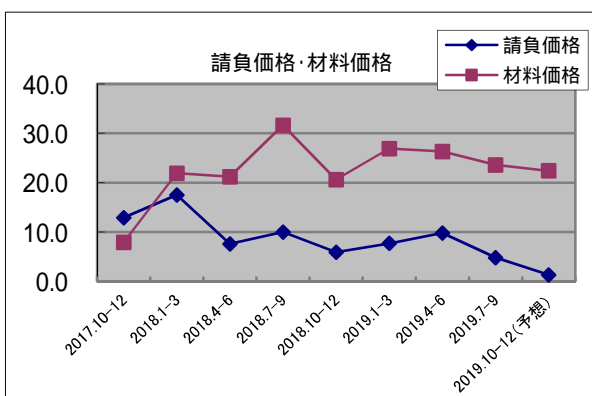


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
 第1位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期45.5%、今期36.2%となっている。
 第2位は「売上の停滞・減少」である。前年同期32.5%、今期29.0%となっている。
 第3位は「人手不足」である。前年同期13.0%、今期18.8%となっている。
 第4位は「人件費の増加」である。前年同期9.1%、今期14.5%となっている。
 第5位は「利幅の縮小」である。前年同期14.3%、今期13.0%となっている。

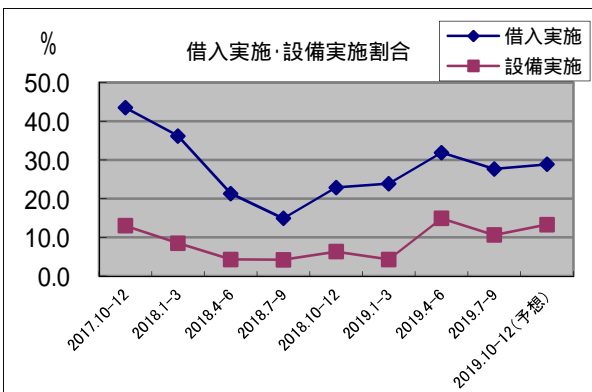
期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予想)
業況	16.5	20.9	15.7	16.6	15.8	24.5	13.8	10.9	12.9
売上	21.6	29.3	27.3	25.6	15.5	19.7	2.0	4.7	13.8
収益	16.5	23.0	23.0	12.7	7.8	10.6	5.6	11.8	8.6
請負価格	12.9	17.5	7.6	10.0	5.9	7.7	9.8	4.8	1.3
材料価格	7.9	21.9	21.2	31.6	20.6	26.9	26.3	23.6	22.4
借入実施	43.5	36.2	21.3	14.9	22.9	23.9	31.9	27.7	28.9
設備実施	13.0	8.5	4.3	4.2	6.3	4.3	14.9	10.6	13.3



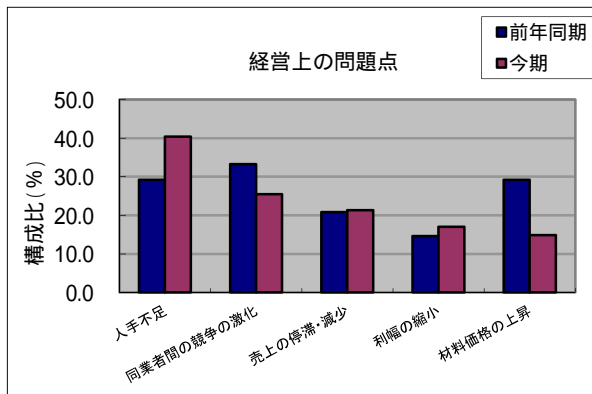
2019年7～9期の業況DI(良い - 悪い)は、10.9と対前年同期比で5.7ポイント悪化し、前期比でも2.9ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については、4.7と対前年同期比で20.9ポイント悪化し、前期比では2.7ポイント改善した。収益DI(増加 - 減少)については、11.8と対前年同期比で0.9ポイント悪化し、前期比では6.2ポイント改善した。業況は悪化、売上・収益は改善した。
来期においては業況・売上は改善、収益は悪化する見込み。



今期の請負価格DI(上昇 - 下降)は、4.8と対前年同期比で5.2ポイント減少し、前期比でも5.0ポイント減少した。今期の材料価格DI(上昇 - 下降)は23.6と対前年同期比で8.0ポイント減少、前期比では2.7ポイント減少した。請負価格、材料価格ともに減少した。
来期については、請負価格、材料価格ともに減少するものと予想している。

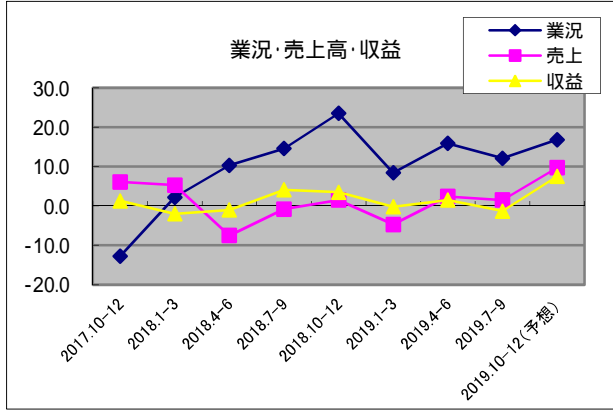


今期の借入実施の割合は、27.7%と前期比4.2%減少した。今期の設備実施の割合については、10.6%と前期比4.3%減少した。借入実施割合、設備実施割合ともに減少した。
来期の予想は、借入実施割合、設備実施割合ともに増加するものと予想される。

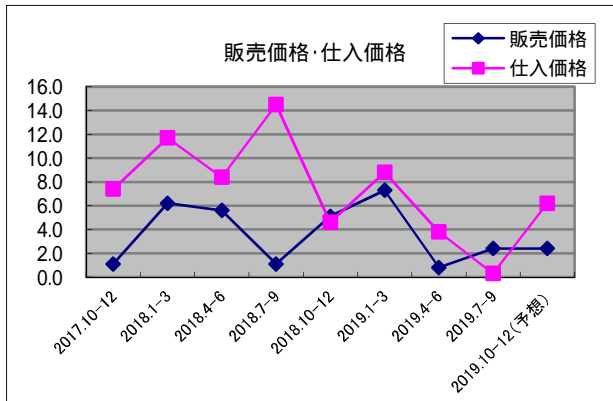


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位第5位までの掲載をした。
第1位は「人手不足」である。前年同期29.2%、今期40.4%となっている。
第2位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期33.3%、今期25.5%となっている。
第3位は「売上の停滞・減少」である。前年同期20.8%、今期21.3%となっている。
第4位は「利幅の縮小」である。前年同期14.6%、今期17.0%となっている。
第5位は「材料価格の上昇」である。前年同期29.2%、今期14.9%となっている。

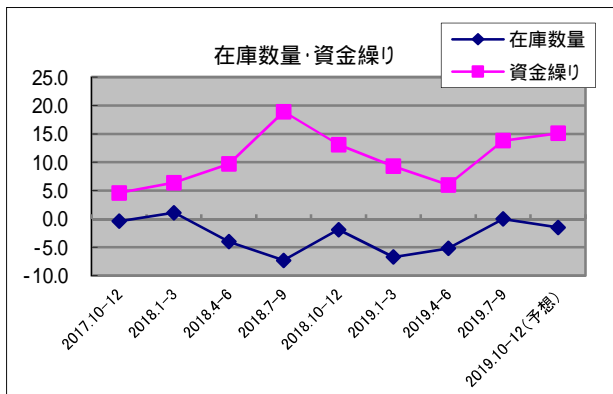
期	2017.10-12	2018.1-3	2018.4-6	2018.7-9	2018.10-12	2019.1-3	2019.4-6	2019.7-9	2019.10-12(予想)
業況	-12.8	2.2	10.3	14.6	23.5	8.4	15.9	12.1	16.8
売上	6.1	5.3	-7.5	-0.8	1.5	-4.7	2.4	1.5	9.7
収益	1.3	-2.0	-1.0	4.1	3.5	-0.2	1.5	-1.3	7.5
販売価格	1.1	6.2	5.6	1.1	5.1	7.3	0.8	2.4	2.4
仕入価格	7.4	11.7	8.4	14.5	4.6	8.8	3.8	0.3	6.2
在庫数量	-0.4	1.1	-4.0	-7.3	-1.9	-6.7	-5.2	0.0	-1.5
資金繰り	4.6	6.4	9.7	18.9	13.1	9.3	6.0	13.8	15.1



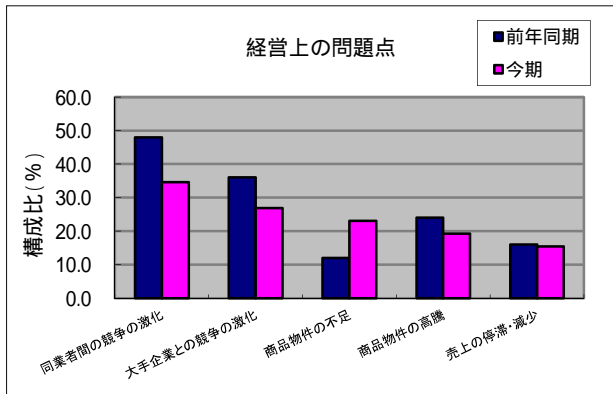
2019年7～9月期の業況DI(良い - 悪い)は、12.1と対前年同期比で2.5ポイント悪化し、前期比でも3.8ポイント悪化した。売上DI(増加 - 減少)については、1.5と対前年同期比で2.3ポイントの改善となり、前期比では0.9ポイントの悪化となった。収益DI(増加 - 減少)については、1.3と対前年同期比5.4ポイント悪化し、前期比でも2.8ポイント悪化した。業況・売上・収益ともに悪化した。
来期は業況・売上・収益ともに改善の見通し。



今期の販売価格DI(上昇 - 下降)は、2.4と対前年同期比で1.3ポイント増加し、前期比でも1.6ポイント増加した。今期の仕入価格DI(上昇 - 下降)は、0.3と対前年同期比で14.2ポイント減少、前期比でも3.5ポイント減少している。販売価格は増加、仕入価格は減少した。
来期については、販売価格は横ばい、仕入価格は増加するものと予想している。



今期の在庫数量DI(過剰 - 不足)は、0.0と前期に対して、5.2ポイント増加している。
今期の資金繰りDI(楽 - 苦しい)は、13.8と前期に対して7.8ポイント改善している。在庫数量、資金繰りはともに改善した。
来期の予想では、在庫数量は減少、資金繰りは改善する見通し。

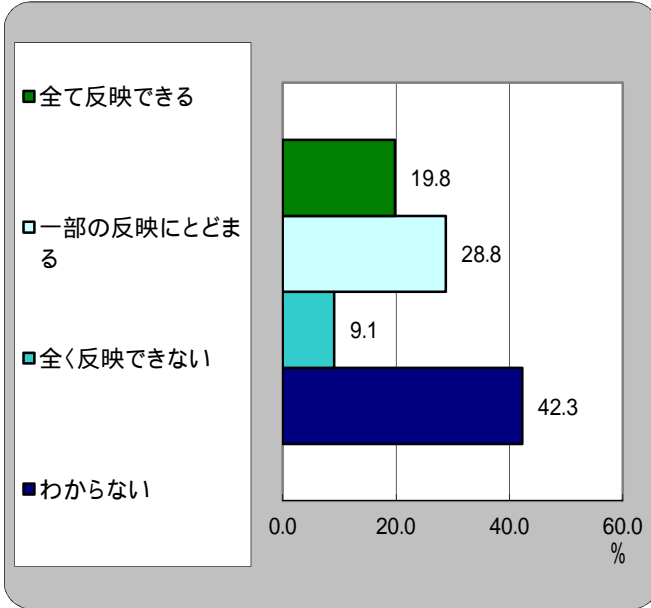


経営上の問題点は、アンケートの結果回答の割合が高い上位5位までの掲載をした。
第1位は「同業者間の競争の激化」である。前年同期48.0%、今期34.6%となっている。
第2位は「大手企業との競争の激化」である。前年同期36.0%、今期26.9%となっている。
第3位は「商品物件の不足」である。前年同期12.0%、今期23.1%となっている。
第4位は「商品物件の高騰」である。前年同期24.0%、今期19.2%となっている。
第5位は「売上の停滞・減少」である。前年同期16.0%、今期15.4%となっている。

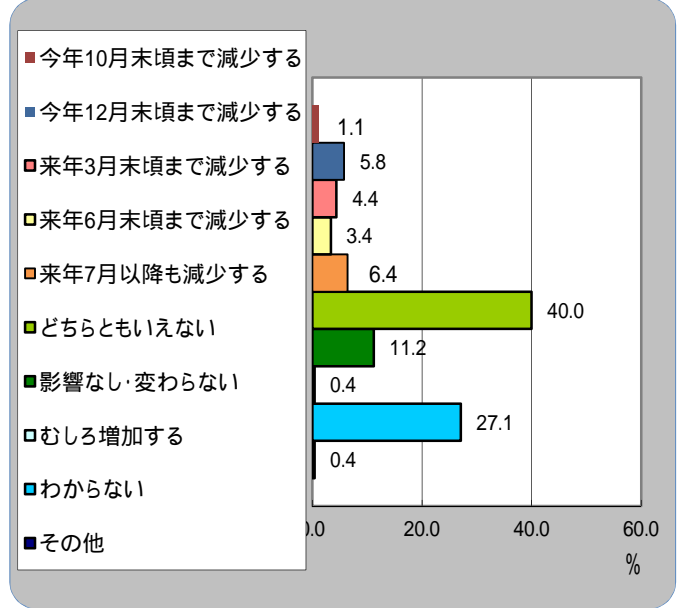
特別調査：消費税率引上げの影響と対応について

（アンケートに回答いただいた全業種・567先の調査結果です）

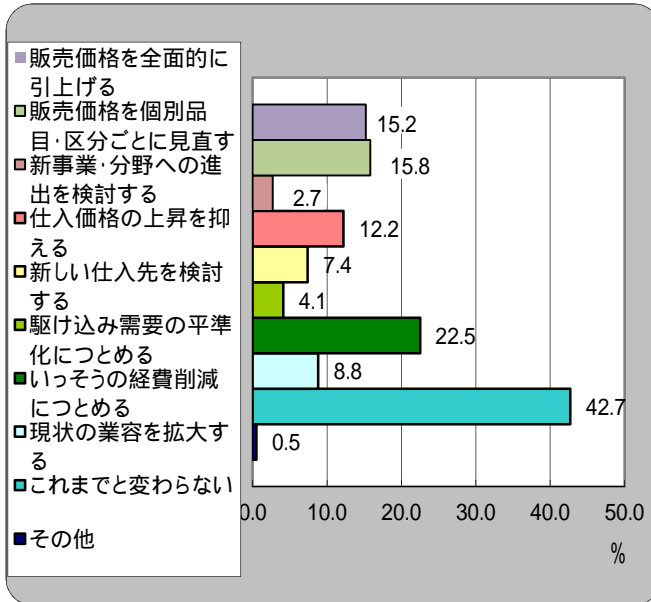
消費税率引上げに伴う販売価格への反映・転嫁



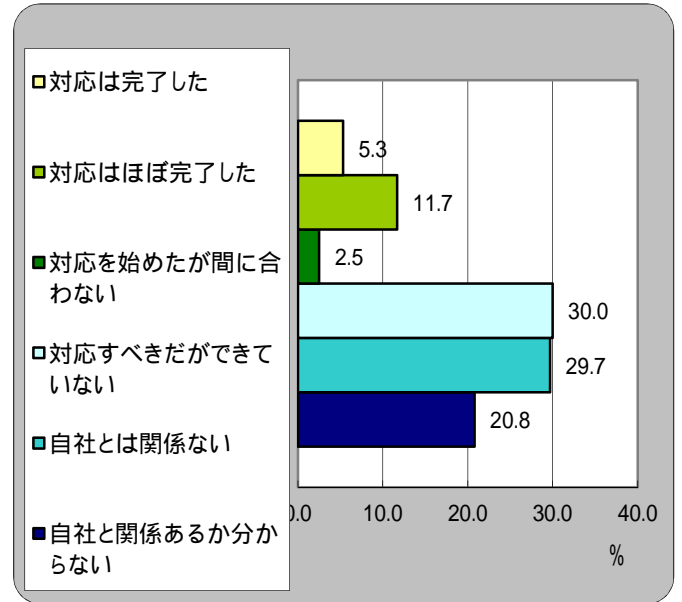
消費税率引上げに伴う売上への影響について



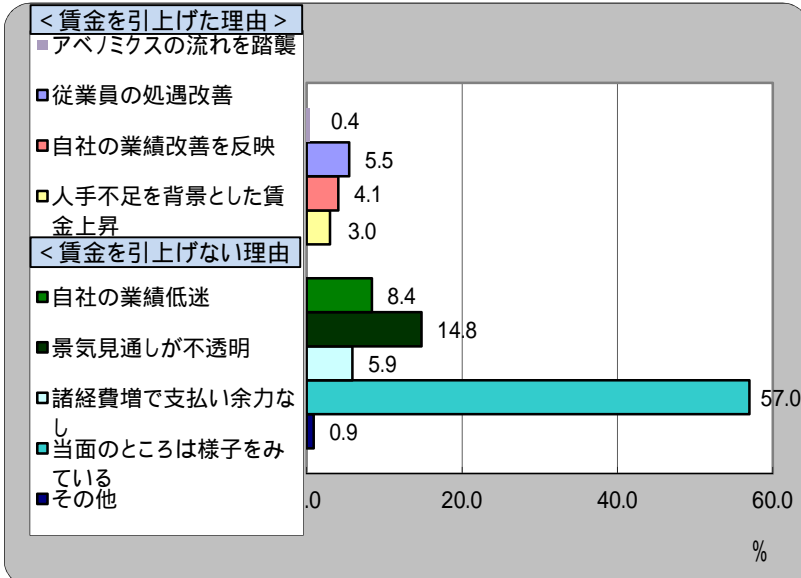
消費税率引上げ後の収益確保策について



軽減税率制度の導入に伴う対応について



消費税増税に伴う賃金の引き上げについて



各種統計指数

	消費者物価指数 平成27年 = 100							
	全国		東京都区部		横浜市		川崎市	
	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比	総合指数	前年同月比
		%		%		%		%
2018年8月	101.6	1.3	101.3	1.2	101.1	1.0	101.6	1.2
2018年9月	101.7	1.2	101.4	1.2	101.2	1.0	101.6	1.1
2018年10月	102.0	1.4	101.7	1.5	101.5	1.4	101.8	1.3
2018年11月	101.8	0.8	101.4	0.8	101.2	0.7	101.6	0.6
2018年12月	101.5	0.3	101.2	0.4	101.3	0.5	101.4	0.1
2019年1月	101.5	0.2	101.3	0.5	101.3	0.5	101.7	0.4
2019年2月	101.5	0.2	101.4	0.6	101.4	0.7	101.6	0.3
2019年3月	101.5	0.5	101.4	0.9	101.3	1.1	101.7	0.8
2019年4月	101.8	0.9	101.8	1.3	101.7	1.4	101.8	1.2
2019年5月	101.8	0.7	101.6	1.1	101.4	0.8	101.6	0.8
2019年6月	101.6	0.7	101.6	1.1	101.3	0.9	101.6	0.9
2019年7月	101.6	0.5	101.5	0.9	101.3	0.8	101.6	0.5
2019年8月	101.8	0.3	101.8	0.6	101.7	0.6	101.9	0.3
2019年9月	101.9	0.2	101.8	0.4	101.6	0.4	102.0	0.4

(出典：総務省統計局)

		国内企業物価指数 2015年平均 = 100	
		総平均	対前年
2018年8月	確報	101.8	3.1%
2018年9月	確報	102.0	3.0%
2018年10月	確報	102.4	3.0%
2018年11月	確報	102.1	2.3%
2018年12月	確報	101.4	1.4%
2019年1月	確報	100.8	0.5%
2019年2月	確報	101.2	0.9%
2019年3月	確報	101.5	1.3%
2019年4月	確報	101.9	1.3%
2019年5月	確報	101.8	0.7%
2019年6月	確報	101.2	-0.2%
2019年7月	確報	101.2	-0.6%
2019年8月	確報	100.9	-0.9%
2019年9月	確報	100.9	-1.1%

(出典：日本銀行)

	景気動向指数DI DIが50%を上回ると拡張基調		
	先行指数(%)	一致指数(%)	遅行指数(%)
2018年7月	13.6	27.8	44.4
2018年8月	18.2	33.3	38.9
2018年9月	18.2	33.3	66.7
2018年10月	27.3	83.3	55.6
2018年11月	27.3	61.1	50.0
2018年12月	18.2	50.0	50.0
2019年1月	18.2	22.2	66.7
2019年2月	31.8	27.8	66.7
2019年3月	40.9	27.8	77.8
2019年4月	54.5	61.1	66.7
2019年5月	27.3	66.7	66.7
2019年6月	18.2	22.2	55.6
2019年7月	10.0	12.5	68.8
2019年8月	11.1	14.3	50.0

(出展：内閣府)

着工新設住宅戸数(戸)		
	東京都	神奈川県
2018年7月	13,145	6,092
2018年8月	11,965	6,250
2018年9月	12,173	7,338
2018年10月	12,300	7,286
2018年11月	15,115	5,853
2018年12月	11,066	6,995
2019年1月	10,150	5,407
2019年2月	10,143	6,294
2019年3月	15,418	5,611
2019年4月	11,822	8,477
2019年5月	10,455	6,813
2019年6月	11,308	6,699
2019年7月	11,054	6,201
2019年8月	12,501	5,785
2019年9月	12,133	6,694

(出典：国土交通省)

内閣府月例経済報告 / 基調判断の変化	
2018年8月	景気は、緩やかに回復している。
2018年9月	景気は、緩やかに回復している。
2018年10月	景気は、緩やかに回復している。
2018年11月	景気は、緩やかに回復している。
2018年12月	景気は、緩やかに回復している。
2019年1月	景気は、緩やかに回復している。
2019年2月	景気は、緩やかに回復している。
2019年3月	景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。
2019年4月	景気は、このところ輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している。
2019年5月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年6月	景気は、輸出や生産の弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年7月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年8月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年9月	景気は、輸出を中心に弱さが続いているものの、緩やかに回復している。
2019年10月	景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。

(出典：内閣府)

店舗一覧

充実の店舗網

東京都内・川崎市・横浜市に65店舗

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
港区	本店営業部	108-0073	港区三田5-21-5	03-3444-1112
	東京港	105-0014	港区芝2-29-10	03-3451-8251
	芝浦	108-0023	港区芝浦3-6-3協栄ビル1階	03-3454-5181
	麻布	106-0045	港区麻布十番4-1-9	03-3451-3710
	麻布十番出張所	106-0045	港区麻布十番2-14-3	03-3456-8550
	日比谷	105-0003	港区西新橋2 8 6 住友不動産 日比谷ビル1階	03-3437-3710
	赤坂	107-0052	港区赤坂3-3-3 住友生命赤坂ビル	03-3585-3710
	六本木	106-0032	港区六本木7-8-8	03-3403-3710
	青山	107-0062	港区南青山5-11-5 住友南青山ビル1階	03-3400-3710
	目黒区	学芸大学駅前	152-0004	目黒区鷹番3-19-18
中目黒駅前		153-0051	目黒区上目黒1-18-6 NMビル2階	03-3791-3371
目黒		153-0064	目黒区下目黒1-1-11 目黒東洋ビル1階	03-3492-6541
碑文谷		152-0002	目黒区目黒本町6-19-18	03-3793-4511
品川区	荏原	142-0064	品川区旗の台2-9-15	03-3783-3126
	大井	140-0015	品川区西大井2-20-12	03-3777-4401
	戸越公園	142-0041	品川区戸越5-7-18	03-3786-3710
	二葉出張所	142-0043	品川区二葉2-14-9	03-3785-3101
	品川	140-0001	品川区北品川11-22-15	03-3471-4791
	南品川出張所	140-0004	品川区南品川6-6-3	03-3474-4811
	戸越銀座	142-0041	品川区戸越1-15-15	03-3783-6511
	小山出張所	142-0062	品川区小山3-7-12	03-5498-3721
	不動前出張所	141-0031	品川区西五反田5-12-3	03-3779-2751
	立会川	140-0013	品川区南大井4-2-5	03-3764-7101
世田谷区	世田谷	157-0073	世田谷区砧3-2-6	03-3415-1146
	喜多見	157-0067	世田谷区喜多見8-16-10	03-3417-1651
	上野毛	158-0093	世田谷区上野毛1-14-5	03-3703-2111
中央区	東日本橋	103-0001	中央区日本橋小伝馬町14-4	03-3661-9751
	銀座	104-0061	中央区銀座6-14-5 銀座ホウライビル3階	03-5565-0530
新宿区	日本橋	103-0025	中央区日本橋茅場町3-10-9	03-3667-6011
	新宿	162-0052	新宿区戸山2-33-109	03-3204-1271
新宿区	四谷	160-0004	新宿区四谷3-5	03-3351-4186
	牛込	162-0825	新宿区神楽坂6-38	03-3260-0241

区名	店舗名	郵便番号	住所	電話番号
大田区	大森中央	143-0024	大田区中央6-29-4	03-3754-1331
	下丸子	146-0092	大田区下丸子3-8-13	03-3756-5571
	雪谷	145-0065	大田区東雪谷3-31-4	03-3748-6660
	大森	143-0012	大田区大森東4-3-10	03-3761-9191
	美原	143-0012	大田区大森東1-9-14	03-3761-9161
	羽田	144-0047	大田区萩中2-2-1	03-3742-0411
	糎谷駅前出張所	144-0034	大田区西糎谷4-14-14	03-3743-8911
	蒲田	146-0095	大田区多摩川11-26-17	03-3758-1261
	穴守	144-0043	大田区羽田4-20-10	03-3744-4511
	大森南	143-0013	大田区大森南3-17-12	03-3745-3711
	糎谷	144-0034	大田区西糎谷1-15-17	03-3745-2371
	大森西	143-0015	大田区大森西5-9-3	03-3768-3601
	梅屋敷出張所	143-0015	大田区大森西6-15-10	03-3766-4111
	京浜島	143-0003	大田区京浜島2-9-1	03-3790-2611
	東糎谷	144-0033	大田区東糎谷4-1-1	03-3741-7111
渋谷区	六郷	144-0045	大田区南六郷2-7-23	03-3730-4871
	北馬込	143-0021	大田区北馬込2-47-1	03-3778-2291
	渋谷	150-0043	渋谷区道玄坂1 14 6 ヒューマックス渋谷ビル1階	03-3463-2515
	広尾白金	150-0013	渋谷区恵比寿3-46-7 シティハウス広尾南1階	03-3444-3710
	広尾出張所	150-0012	渋谷区広尾5-19-10 ウイルハギヤビルディング 1階	03-5447-6810
	新宿西	151-0071	渋谷区本町3-43-3	03-3376-9111
調布市	恵比寿駅前	150-0013	渋谷区恵比寿1-19-23 東邦ビル4階	03-5423-6120
	東渋谷出張所	150-0011	渋谷区東2-17-14	03-5485-3710
	調布	182-0035	調布市上石原1-31-16	042-482-6193
稲城市	多摩川	182-0023	調布市染地3-1-253	042-483-4011
	稲城	206-0801	稲城市大丸200	042-377-3811
日野市	矢野口	206-0812	稲城市矢野口1674	042-378-2961
	高幡不動	191-0031	日野市高幡17-7	042-592-7111
川崎市	川崎	210-0837	川崎市川崎区渡田1-1-10	044-366-1234
	鷺沼	216-0007	川崎市宮前区小台1-20-2	044-866-8451
	平間	211-0014	川崎市中原区田尻町66-1	044-555-3821
横浜市	高田	223-0065	横浜市港北区高田東4-24-41	045-546-0431
	新羽	223-0057	横浜市港北区新羽町1738	045-545-2931

編集・発行

営業統括部・コンサルティングセンター

〒144-0047 東京都大田区萩中2-2-1

電話：03(3742)0626

さわやかに まごころをこめて

 さわやか信用金庫

<http://www.sawayaka-shinkin.co.jp/>

(2019年11月29日現在)